

# 平成21年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

事業名	首都圏における異分野の専修学校連携によるコンソーシアム組織等の開発		
法人名	学校法人 電子学園		
学校名	日本電子専門学校		
代表者	理事長 多 忠 和	担当者 連絡先	内田 満 電話 03-3369-9333

## 1. 事業の概要

専修学校制度が設置されて以来、各専修学校は独自に教育事業に展開してきた。その為、各学校の独自性を発揮し、特徴ある教育が実施され、一定の評価を得てきた。しかし、社会に対しては、ややもすると独善的な事業展開をしてきたきらいがある。高等学校との連携強化、企業社会との連携、専修学校間の連携等が疎かにされてきたのが現実である。これらの諸課題に取り組むことを主眼に、平成20年6月、東京の異なる教育分野の専修学校が連携し、「専門学校コンソーシアムTokyo」を立ち上げた。今事業ではこの連携体制を更に充実させ、以下の事業【①専修学校間での「単位互換」、「教員の相互派遣」、「他の専修学校生に対する専門講座の開設」等の教育サービスの充実、②産業界、教育委員会、地域人材育成の公共機関との連携による「しごと倶楽部(仮称)」の共同開催、③大学間での連携事業の調査・研究】を展開し、地域で必要とする人材育成に貢献する。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

- ・平成20年6月に、10校の専修学校で設立していた専門学校コンソーシアムを11校に拡大できた。また懸案であった、コンソーシアム共同事業をキャリアイベント「Tokyoしごと倶楽部2009」として、実施できた。
- ・大学・企業・団体間で実施している教育連携調査を当初の目標どおり九州、関西、関東の3地点で実施でき、専修学校間における教育連携に反映できた。
- ・異なる専修学校生を対象とした専門技能講座のニーズを調査し、3講座を開発・実施でき、受講生に好評を得た。
- ・本事業のWebサーバーを立ち上げ、逐次、各事業の進捗

### ②事業により得られた成果

- ・「Tokyoしごと倶楽部」参加者1,042名のアンケート調査等により得られた結果の分析から、当キャリアイベントの目的である「仕事理解が深まった」と答えた割合が78%であった。
- ・専修学校間での専門技能講座を3講座に合計55名の学生が受講した。1専多能の技能を身に付けさせるとの目的を達成でき、94%の受講生が「講座に満足した」と答えている。

### ③今後の活用

- ・専門学校コンソーシアムTokyoは次年度以降も生徒・学生等を対象としたキャリアイベント「Tokyoしごと倶楽部」を企画・実施していくことを決めた。
- ・地域教育推進ネットワーク東京協議会等に参加し、地域の生徒・学生に対する教育連携を活性化させる。
- ・専門学校コンソーシアムTokyoは専修学校間での専門技能教育講座を充実していく為教育連携委員会を組織し、次年度以降も、加盟専門学校の専門性を活かし1専多能な職業人を養成していく。

#### ④次年度以降における課題・展開

- ・異分野の専修学校の集まりである専門学校コンソーシアムTokyoであるが、専修学校8分野すべての校種が参加していない。よって、「職業人教育」に熱心な学校の更なる参画が望まれる。
- ・「職業人教育」を担っている専修学校の教育実態を、社会にアピールするために、キャリアイベント「Tokyoしごと倶楽部」の継続実施が重要である。また地域教育推進ネットワーク東京協議会等との連携により、中学校・高等学校・大学・社会の人々への職業(技能)教育講座の実施が望まれる。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①企画・ニーズ調査等

(キャリアイベント企画)

- ・事業のねらい:2008年6月に組織された”専門学校コンソーシアムTokyo”の設立趣旨「専修学校で実施されている『職業人教育』を社会に正当に評価して貰うために行動する」を実践する為に、キャリアイベント「しごと倶楽部」を開催した。

(大学間連携調査)

- ・調査項目:大学間、大学と企業・団体、大学と社会における教育連携の実態調査。
- ・調査対象:①鹿児島大学を中核とした地域酒造組合等との人材育成連携。②東京工業大学を中核とする企業との新技術連携。③京都府・京都市および周辺教育機関50校以上が連携した大規模な人材育成、地域活性化と人材育成事業。
- ・実施方法:①, ②, ③についてすべてで面接調査を実施。

(専修学校間教育連携ニーズ調査)

- ・調査方法:専門学校コンソーシアムTokyo加盟11専門学校から教育連携担当者を選出し、共通のアンケートフォームを作成し、Eメールでアンケート調査を行った。
- ・調査項目:講座名、講座概要、連携希望専修学校名、講座開催時期、講座時間数、講座開設方法(学生が出向く、講師派遣)、その他(講師指名が有るか等)。
- ・調査結果及び実施:調査結果を分析し、今年度実施可能な3講座のプログラムを開発し実施した。

#### ②キャリアイベント企画の実施

- ・イベント名:しごとを体感する夏休み!!「Tokyoしごと倶楽部2009」
- ・対象・目的:生徒・学生・将来の仕事を探している人を対象とし、約30種の仕事を目の当たりし、興味のある仕事を、時間の許す限り実体感することを目的とした。
- ・開催団体:(主催)専門学校コンソーシアムTokyo(後援)東京都教育委員会、新宿区、東京商工会議所新宿支部、(財)東京しごと財団 東京しごとセンター。
- ・体感可能職種:環境技術者、ゲームプログラマー、インテリアコーディネーター、大工、設計士、アニメーター、CGデザイナー、幼稚園教諭、保育士、自動車整備士、レーシングメカニック、自動車開発エンジニア、シェフ、パティシエ、カフェ、栄養士、すし職人、ファッションアドバイザー、スタイリスト、デザイナー、ヘアスタイリスト、エステティシャン、ネイリスト、ヘアメイク、シルバーアクセサリーデザイナー、レザークラフトマン、トリマー、動物看護師
- ・開催日時:2009年7月27日(月)10:00~16:30
- ・開催場所:池袋サンシャインシティ 文化会館2F
- ・告知方法:電車内ポスター広告、新聞広告、高等学校・大学・専門学校・日本語学校・ハローワーク・メ

### ③専修学校間教育連携講座

#### (1) 電気工事体験講座

- ・テーマ: 建築設計を学ぶ学生を対象とした、電気設備に関する基礎講座「電気工事関連実習」
- ・期間: 平成21年7月27日、28日の2日間(合計11時間)
- ・受講者: 専門学校中央工学校建築設計科の学生
- ・受講者数: 19名
- ・場所: 日本電子専門学校

#### (2) 福祉住環境コーディネーター受験対策授業

- ・テーマ: 介護福祉を学ぶ学生を対象とした、家全体から、玄関・キッチン・浴室・階段等、各所の細かな構造や留意点を学ぶ
- ・期間: 平成21年10月15日、22日、29日の3日間(合計4時間30分)
- ・受講者: 彰栄保育福祉専門学校介護福祉科の学生
- ・受講者数: 18名
- ・場所: 彰栄保育福祉専門学校

#### (3) ネイル講座

- ・テーマ: Webデザインおよびグラフィックデザインを学ぶ学生を対象とした、接客に相応しい身だしなみを目的としたネイルケア講座
- ・期間: 平成22年2月3日の1日間(2時間)
- ・受講者: 日本電子専門学校介Webデザイン科およびグラフィックデザイン科の学生
- ・受講者数: 18名
- ・場所: 日本電子専門学校

### ④成果報告会

#### (開催案内)

- ・DMによる告知: 首都圏の高等学校683校の校長・進路指導担当宛に郵送した。また都内の専門学校280校の理事長・学校長宛に郵送した。更に在京のメディアに告知した。
- ・HP上での告知: 開催日の1ヶ月以上前に、専用開設したHP上で告知案内すると共に、参加申し込みもHP上で行った。

#### (開催日時・場所)

- ・日時: 平成22年2月18日(木) 15:30～17:00
- ・場所: 日本電子専門学校9号館メディアホール

#### (参加者)

- ・参加人数・属性: 高等学校教諭(4名)、専門学校関係者(25名)、メディア・業界関係者(8名)、企業(3名)、合計40名が参加し、事業内容、成果に関心を持った。

【添付資料】

(キャリアイベント企画)

- K-1 ポスター
- K-2 新聞広告
- K-3 DMはがき
- K-4 会場パンフレット
- K-5 アンケート用紙
- K-6 アンケート集計

(大学間連携調査)

- D-1 九州地区調査報告
- D-2 東京地区調査報告
- D-3 関西地区調査報告

(専修学校間教育連携講座)

- S-1 電気工事体験講座プログラム&実施報告
- S-2 福祉住環境コーディネーター受験対策授業プログラム&実施報告
- S-3 ネイル講座&実施報告

(成果報告会)

- H-1 アンケート用紙
- H-2 アンケート集計

(ホームページ)

- W-1 トップページのコンテンツ

以 上